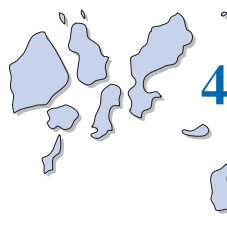


上島町



4月5日

～5月8日

日韓交流の架け橋に！ 金愛光園長 韓国巨済島より 縁を尋ねて来町

5月7日から9日までの3日間、韓国巨済島^{きょさいとう}で福祉施設「愛光園」^{あいこうえん}を経営されている金任順^{キムインスン}さん一行が上島町を訪問されました。

訪問のきっかけとなったのは、明治24年から旧魚島村の漁民がイワシ漁のため、韓国の巨済島へ出漁し、現地の人々との数々の拮抗と和解を繰り返しながら、小魚島村を形成し、漁法を伝えたという史実があります。そのことを、巨済島の漁師の息子として生まれ、後年魚島村に帰村した有永登氏^{ありながのぼる}が愛光園長の金さんに伝えたことにより、「是非とも魚島へ赴きそのルーツを尋ねたい」との長年の熱い思いが、今回の来町となったものです。金さんは既に出雲市や東広島市にある社会福祉法人六方学園等との交流を行っている熱心な親日家であり、今回の魚島・上島町来町が日韓友好の架け橋になればとの思いを話していました。

金さん一行は5月7日、生名島の特別養護老人ホーム「海光園」を視察され、夕方に佐伯前魚島村長等に出迎えられて魚島に到着。翌8日の午前中に島内視察後、30名余りの住民との懇談会に出席されました。懇談会では、有永さんから朝鮮出漁の歴史についての講話があり、その後、金さんの愛光園での福祉活動を通じた慈愛の念を日本との交流にも注がれてきた取組みについて日本語で述べられました。出席者からは「先祖の開拓魂を受け継ぎ、島の活性化に頑張りたい」などの意見も出される有意義な会となりました。

午後からは弓削島へ渡り、上村町長を表敬訪問されました。

面談では上村町長から韓国語でのねぎらいの歓迎挨拶とともに「今回の訪問が、巨済島と上島町の交流発展につながり、ひいては日韓交流の架け橋に」と、歓迎と期待の言葉が述べられました。金さんからも、「今度は是非、上村町長を始め上島町の方に巨済島を訪れていただき、より一層の交流を深めたい」と述べられ、今後ますますの親交を約束しました。また、金さんから上島町長へ愛光園の生徒が左手のみで作成した刺繍絵が寄贈されました。面談終了後、参加者全員で記念撮影を行い、弓削島内を視察、弓削ロッジに宿泊され、翌9日、上島町を後にしました。

金さんは「念願が叶えられて嬉しい、実りの多い訪町だった。再開を楽しみにしています。」と感激の様子でした。

今回は是非、私たちが巨済島を訪ね、交流を深めたいと思います。



念願の魚島に到着



町長とガッチリ握手



有永さん(左)と金さん



魚島での懇談会の様子



刺繍絵を寄贈

ヴィラ風の音 お披露目

4月22日、弓削地区豊島において、福山市の(株)風の音舎が経営する“ヴィラ風の音”完成によるお披露目が行われました。ヴィラ風の音は、レストラン棟と宿泊棟4棟からなる、少人数制の宿泊施設です。今回は、風の音舎の代表取締役よりオープン前に是非、地元の方々にも施設を体験していただきたいとお披露目が行われました。当日は、あいにくの天候でしたが、弓削港には約200名の行列ができ、風の音舎のクルーザー2隻とチャーター船1隻で参加者全員を送迎。豊島では係員の案内により宿泊棟、レストラン棟を見学し、レストラン棟では、手打ち蕎麦がふるまわれる等、参加者は上島町の新しい観光スポットを堪能していました。

正式オープン は 7月の予定です。

■問合せ先 TEL 084-982-2211

URL <http://www.villa.kezenooto.jp/>

宿 泊 棟



豊島港から傘の列が出来ました。

しまづくりキャラバン2007

5月3日～6日の4日間、大阪市のインテックス大阪において“しまづくりキャラバン”が開催され、上島町からも職員2名と農家1名で参加し、特産品のレモン等の販売をはじめ、島の観光などを精一杯PRしました。

毎日出演したステージの「島の宣伝とレモンまき」は、大好評で、大勢のお客さんがひしめき合いながらレモンを受け取っていました。今年は、レモンまきの他に、「海苔巻レモン」や「レモネード」の試食や試飲も好評で、本物のレモンや海苔の良さを味わって頂けました。

また、上島町のブースには関西岩城会の皆様はじめ、多くの上島出身者にお越しいただき、なつかしいお話を聞かせていただく等、「大阪にも上島町を応援してくれる人たちがいる」ことを確信しました。紙上より御礼申し上げます。今後ともPRイベントには参加しますので、皆様方の心温まるご声援をお願いいたします。



上島町ブース



レモンまきは大盛況

「上島の島々で」ふれあい島四国



4月15日 弓削島四国



弓削島



弓削島



弓削島



弓削島



弓削島



佐島



弓削島

5月7日 佐島四国



佐島

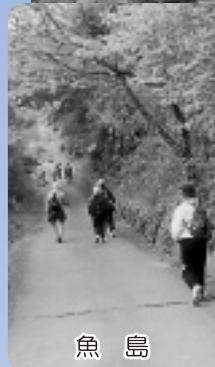


佐島

4月21日 魚島四国



魚島



魚島

5月7日
岩城島四国



岩城島



岩城島

5月7日 生名島四国



佐島



生名島



生名島

弓削沖の旬の鮮魚を即売!! 弓削漁協「魚朝市」今年は2日開催

弓削地区

4月29日と5月5日の2日間、弓削漁業組合前の広場において、漁協青年部によるゴールデンウィーク恒例の「魚朝市」が行われました。

今年は少しでも多くの方にお越しいただくため、開催日を1日増やし開催されました。

毎年、真鯛やヒラメなどの新鮮な魚がたくさん並ぶとあって、両日とも販売前から多くの方が来られ長蛇の列ができていました。5月5日には、販売前に約8kgの大ヒラメの解体ショーが行われ、ゆげロッジの中野料理長によって来場者の目の前で鮮やかにさばられました。さばかれたヒラメの刺身は直ぐに振舞われ、多くの方が新鮮なヒラメの味に舌鼓をうっていました。

販売が始まると、何匹もまとめ買いをされる方もおられ、用意された魚（2日で約2トン）は数時間で完売されました。

また、会場内では漁協婦人部による「鯛めし」や「タコおこわ」も販売されましたが即完売状態。青年部の「魚フライ」、「魚の干物」も人気を集め、大変賑わっていました。



新鮮な桜鯛



ヒラメの解体ショー



漁協青年部長の挨拶



鯛めし、タコおこわ



ヒラメの刺身に舌鼓



鮮魚を選ぶのも真剣です



干物もほぼ完売です

お買い得！フリーマーケットin弓削

4月15日、弓削友愛の水広場において上島町商工会青年部弓削支部主催によるフリーマーケットが開催され、お年寄りや子どもたちが世代を超えて交流を楽しみました。

この催しは、町内外の人との新たな交流と生活用品再利用へ向けたリサイクルを目的とし、人の往来が多い、島四国と同日に開催。広場には近所の仲良しグループや小学生等の10グループが出展し、各家庭で不要となった衣類、雑貨、家具等が格安で販売されました。世間話をしながら値段交渉を楽しむ風景も見られる等、来場者は休日のひとときを楽しく過ごしていました。



掘り出し物が沢山

生名地区

立石観音例大祭

4月15日、観音講、立石観音保存会の有志により子安観音の信仰祭「立石観音例大祭」が行われました。

晩年に私財を投じて三秀園を造園して観音信仰の霊場とした麻生イトの功績を偲び、麻生イト像前で法要が行われました。当日は天気も良く、商工会によるバザーもあり、多くの住民が集まりました。三秀園には桜も多く植樹され、花見をしているグループも見受けられました。「立石観音例大祭」は毎年開催していますので、町民の皆様方のご来場をお待ちしております。



霊場前での花見

商工会青年部の
バザーの様様



東泉寺 薬師祭(おやくっさん)

5月5日、弓削久司浦の東泉寺において、本尊薬師如来の祭日と花祭りの法要を盛大に行う薬師祭（おやくっさん）が行われました。

境内へつづく参道にはつつじの花が綺麗に咲き、綿菓子やイカ焼きなどの露店が多く並んでいました。お寺では甘茶やへぎ飯の接待が行われ、多くの参詣者で賑わいました。



甘茶を観音像にかける参詣者



多くの露店で賑わう参道

岩城地区

豊かな海づくり、資源保護のため
岩城島沖、津波島沖で稚魚の放流

5月1日、岩城島沖、津波島沖において、岩城生名漁協による稚魚の放流が行われました。今回は、アコウ（キジハタ）の稚魚1,000匹が、地元漁業者の協力を得て放流されました。

漁協では、魚資源の回復のために以前からギザミ（キュウセン）の稚魚等を積極的に放流してきました。この稚魚が岩城の海ですくすく大きくなり、地元漁業者によりたくさん漁獲され、皆様の食卓へのぼることを願っております。



稚魚放流の様子



キジハタの稚魚

魚島地区

魚島老人クラブ総会

4月5日、老人クラブの総会が花見も兼ねて石鎚公園において行われました。

桜は七分咲きでしたが、会員の皆さんの笑顔は満開！ひょうたん島を望む公園ではのど自慢の会員達が昔ながらの民謡を披露し、皆が手拍子で応えていました。

クライマックスは、老人クラブ会長の天を仰ぐ見事な舞が披露され、桜の下は笑いの渦に包まれていました。



会長の見事な舞披露

海光園で避難訓練

4月25日、海光園において火災避難訓練が行われました。海光園には自力で避難できない災害弱者の方が多く、職員の手助けが重要となります。今回は面会室が火元と想定され、避難経路の確保等、職員のスムーズな誘導により全ての入所者が安全に避難することができました。訓練終了後、消防署職員による避難時の

注意点についての指導があり、入所者・職員共に真剣に聞き入っていました。今後も、様々な訓練を積み重ね、安心して生活できる施設づくりを目指します。

全員無事に避難しました。



介護避難の様子

岩城小・中学校グラウンド
で恒例の交通安全教室開催

4月23日、岩城小学校と岩城中学校のそれぞれのグラウンドにおいて交通安全教室が行われました。

伯方警察署員や岩城駐在署員、交通安全指導員の指導のもと、小学校グラウンドには交通指導用の信号機が設置され、低学年は正しい歩行、横断歩道の渡り方を、中・高学年は自転車の安全確認の仕方や手信号、自転車点検等の基本的な指導を受けました。

中学校では自転車の運転技術とともに、交通安全に対する意識や正しい交通ルールの習慣について教わり、小中学生ともに、真剣な表情で取り組んでいました。



ジグザグ運転をする生徒



元気良く手をあげる児童